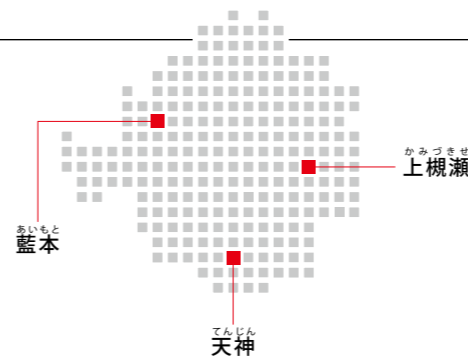


DATA 人口 107,744人 (前月比 - 320)
世帯数 46,936世帯 (前月比 + 42)
*令和5年3月末



さんだの魅力、お届けします。

theme | 健やかに、幸せに。祈りの風景

5月5日は「こどもの日」であり「端午の節句」です。子どもの健やかな成長を願って行われる行事や風習など、三田ならではの趣ある風景をご紹介します。気候の良い5月。ぜひおでかけしてみてください。

注意 路上駐車や私有地への立ち入りなど
違法・迷惑行為はやめましょう

本誌掲載の内容は、**令和5年4月20日**
現在の情報です。

4 **特集**
こうみん未来塾「探究コース」
自分の未来は自分でデザイン

10 市長モリテツのほっとトーク
「『さと』の恵みを活かす地域づくり」

11 TOPICS | 特にお知らせしたいこと
11 市の補助金 (要申請)
12 新型コロナウイルス関連情報
13 子ども同士が「学び合い、高め合える」
学校規模を
14 マイナンバーカード

15 Information | 情報コーナー
15 ピックアップ・インフォメーション
17 おでかけ・インフォメーション
20 リビング・インフォメーション

24 子育て News / 子育てカレンダー
27 保健だより (乳幼児)

28 相談窓口・電話 / 休日診療当番医

30 共生 / 消費生活 / 消防 / 交通安全

連載
学校自慢 **八景中学校**

32 多様な世代・多様な暮らし
さんだっ子スマイル
シニア×いきいきライフ
若者×地域活動 **NEW**
わたし×チャレンジ

34 みんなのひろば
図書館だより

35 Photo News | まちの話題
広報モニター募集 / 読者の声 / 編集後記

*連載「**SUN** だなヒト。」は、今号の掲載はありません。次回は令和5年6月号に掲載します (偶数月に掲載)。



祈りを込め地域を彩る「こいのぼり」= 藍本 =

田園風景に13組の鮮やかなこいのぼり。坊野憲男さんが毎年揚げています。異国の地ブータンを訪れた際、健康や幸福への祈りを込めた色とりどりの旗が広がる景色に感動した坊野さんが、「日本の里山にも」と思い、考え着いたのがこいのぼりでした。地元の人から預かった7組で始めたところ話題となり、今では県外からも依頼されるまでに。6月5日 (旧暦の端午の節句) まで楽しめます。*雨や風の強い日は下ろす場合があります。



「想いを預かっているので続けられる限り続けたい」と語る坊野憲男さん

力強く泣いて元気に育ってね
「泣きずもう」= 天神 =

5月5日に三田天満神社で行われる伝統行事です。赤ちゃんたちが化粧まわしを着けて、親などに抱かれて土俵入り。行司の「はっけよい、のこった」の掛け声に泣きだす赤ちゃんの元気な声を聞き、その成長を祝うとともに無病息災を祈願します。
【写真提供：三田天満神社】



子孫繁栄を願って食べる「かしわ餅」= 上槻瀬 =

カシワの木は新芽が出るまで古い葉が落ちないことから、その葉が子孫繁栄を象徴する縁起物として使われます。「三田もち処 つくしの里」では、三田産のヤマフクモチ米100%のかしわ餅を購入できます。三田の水で育つ良質な米を毎朝蒸して作る餅の豊かな風味に、自家製あんこの甘さとカシワの葉の香りが合わさり格別。5月5日までと6月5日頃の期間限定で、この季節にしか味わえない一品です。



10 言語で「読める」「聞ける」
多言語対応アプリ
カタログポケット
*アプリのダウンロードが必要です

緊急情報などを一斉送信!
市LINE公式アカウント
友だち募集中!
*アプリのダウンロードが必要です

ご案内

人権さんだ

冊子の中央 (18-19 ページの間) に、人権啓発誌「人権さんだ」を挟み込んでいます。抜き取って、ご覧ください。